

10 / 27

Mon

研究校 軽井沢町立軽井沢西部小学校

共同研究者 赤坂真二
(上越教育大学 教職大学院 教授)

自律をめざし探究・ 共生する子どもの育成

「じぶんでかंगाえ みんなでつくる」考えをひらき、
つながりを紡ぐ わたしたちのあゆみ

本校の学校教育目標は「じぶんでかंगाえ みんなでつくる」です。今年度はこの目標をより具体化するために、「自分で決めること」や「仲間から認められる経験」を大切にしながら、子どもたちが主体的に学び合い、共によりよい学級や学校を築いていけるような教育活動を進めています。そのために、日常の学校生活の中で自己決定の機会を保障し、自己有用感を高める場面を意図的に設けています。例えば、4月には、「学びのSTART 集会」という全校集会を開き、子どもたちと「自律」について考え合うことからスタートしました。

実践の柱となるのが、クラス会議と自己調整学習です。共同研究者の赤坂真二先生が提唱されるように、クラス会議の目的は「共同体感覚」の育成にあります。クラス会議では、子どもたちが個人や学級の課題を出し合い、互いの意見を尊重しながら解決策を見いだす活動を重ねています。その過程で合意形成の力や協働の力が育まれ、学級の成長につながっています。さらに、そこで培った力を基盤に、子ども自身が学習の目標や方法を主体的に選び、振り返りや改善を行う自己調整のある学習へとつなげています。

こうした取組の中で、子どもたちの変化も見えてきました。低学年では、友だちの意見を最後まで聞いてから自分の考えを付け加える姿が見られるようになりました。高学年では、複数の意見を整理して解決策を導き出したり、発言が少ない友だちに「どう思う？」と声をかけたりする姿が見られます。また、自己調整学習では、友だちの学び方を参考にしたり、助言を求めたりする姿が増え、振り返りの場面で自分の課題や改善点を具体的に言語化できる子どもが増えてきました。

10月27日には、1年生のクラス会議、6年生のクラス会議、そして、5年生算数の自己調整のある学習を公開します。本研究会は、子どもたちの実践の様子を直にご覧いただくとともに、赤坂真二先生の講話から、学校づくりや学びづくりのさらなる展望を共有できる貴重な機会となります。

考えをひらき、つながりを紡ぐ学びの場を、皆さまとともに創り上げられることを心より楽しみにしております。



共同研究者 赤坂先生から

近年、主体的な学習者を育てるために個性を尊重した学習スタイルを取り入れることで、その実現を図ろうする取り組みが盛んです。しかし、本来主体性は、人との協働場面で発揮されて初めて意味を成すとする考え方もあります。軽井沢西部小学校の取組は、主体的学習者を育てようとするときに個性を尊重する方向性だけでなく、クラス会議という方法によって子どもたちの手による学習コミュニティづくりを基盤にしているところが特徴的です。また、職員同士のコミュニケーションや協働で最適解を探究する校内研究の在り方も多くの学校と共有したい姿です。



学び創造研究会

私たちと子どものあゆみ
Vol.2

～日程～

- ② 受付 13:10～13:25
- ③ 開会式・授業説明 13:30～13:40
- ④ 授業参観 13:50～14:35
- ⑤ 授業について語る会 14:45～15:25
- ⑥ 講演会 15:30～16:40
- ⑦ 閉会式 16:40～16:45